

登山の実施結果について(令和6年5月29日～同年7月3日実施分)

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮高等学校	令和6年度赤嶽山登山	赤嶽山(日光市)	令和6年6月16日	1日(日帰り)	15名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭	学校(6:30)・・・鶴田駅(7:05)・・・日光駅(7:45)・・・キスゲ平園地(8:25)・・・丸山登山口(8:40)・・・八方ヶ原(9:10)・・・丸山山頂(9:45)・・・焼石金剛(10:40)・・・赤嶽山山頂(11:25)・・・小丸山展望台(12:45)・・・レストハウス(13:05)・・・日光駅(14:19)・・・鶴田駅(15:00)・・・宇高(15:10)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・晴れて暑くなることが予想されたため、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・本格的な登山は初めての部員もいることから、体調不良や疲労感を感じたらすぐに知らせることを確認した。 ・赤嶽山頂で体調確認をしたところ、3名ほどの1年生が疲労感を訴えたため、計画書に盛り込んだ通り奥社跡には行かず下山することとした。	特になし	特になし	特になし	問題なし
2	大田原高等学校	那須山行	赤面山三本槍岳(那須町)	令和6年6月1日	1日(日帰り)	13名	2名 高梨和幸 小磯怜士	旧白河高原スキー場登山口6:15集合、行動開始6:40・・・リフト跡7:20・・・分岐8:05・・・赤面山8:50・・・前岳9:25・・・赤面山分岐9:50・・・北温泉分岐10:15・・・三本槍岳10:40・・・北温泉分岐12:05・・・赤面山分岐12:30・・・前岳13:15・・・赤面山13:50・・・分岐14:20・・・リフト跡15:00・・・スキー場後登山口15:20	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れのち曇り 0cm	・山行前日の5/31(金)、事前の下見とともに手作りのジオラマを用いてルートの確認を綿密に行った(5/31、急遽下野新聞社の取材を受けることになり、その様子が翌6/1の朝刊に掲載された)。 ・落石の危険がある場所があり、必ずヘルメットをつけること、緊急時のエスケープルート、山頂付近で強風があった場合など、さまざまなリスクに対して事前に示し合わせた。	①集合場所を間違えた生徒(保護者)がいた。 ②山頂で昼食をとった後、腹痛を起こした生徒がでた。正露丸を飲み、下山途中で携帯用トイレで用を足し、問題なく下山できた。 ③引率者が三本槍岳目前で足がすり、力が入らない状態となった(おそらくハンガーノックと思われるがこの時点では本人の自覚がなかった)。登山客がまあまあ通る細い上り道だったため、休憩と水分・栄養分をとったあと、副顧問の荷物を登山アドバイザーが背負い、すぐ近くまできていた三本槍岳山頂に向かった。山頂では昼食も含めてしばらく休憩し、パーティの歩行速度を緩め、本人の体調を全員で確認しながら慎重に下山した。	①保護者会資料で説明をし、二日前に集合地点の座標をリマインド、また前日には生徒に対して保護者のナビゲーションをするように指示していたが、入部間もない1年生の生徒や保護者のため慣れていなかったようである。 ②出発時の体調は良好。昼食で食あたりになった様子もなく、腹痛の原因は不明。 ③朝食はとってきており、体調も特に問題なくスタートしたが、普段生徒のようにトレーニングをしているわけではないため体力不足だったかもしれない。また、「足がつる」「力が戻らない」と訴えていたところから下山時にハンガーノックと判断したが、山岳部の副顧問になり日も浅く、低血糖に関する知識が不足していた点は否めない。	①山岳部の活動場所は他の部活動と大きく異なり、少なくともその日の山行の計画は教員・生徒・保護者すべてが理解し共有していなければならない。保護者会を開き計画の内容を説明しているところではあるが、引き続き保護者会で丁寧に説明を行い協力をおねがい。 ②(同姓の生徒でコミュニケーションもとれる関係性があつたため)途中で腹痛で便意を感じても、速やかに茂みに入れるよう事前にパーティ全員で理解しておいた。特に筐数に入る際には崖下に落ちないようにするなど注意事項も共有しておいた。 ③日々の部活動の時間でハンガーノックについては生徒に指導していたが、なかなか正顧問と副顧問が日々部活動に取り組む時間がとれず、副顧問の研修までは追いついていなかった。ハンガーノックは口数が少なくなったり、元気がないなどの兆候などがあることが多いので、もう少し異変に早く気づけたらという反省がある。 山行中に複数のトラブルが発生したが、ハンガーノックである可能性が浮上してから、腹痛の生徒、シャリばての引率者に対してパーティ全員(生徒・OB・参加保護者等)が一丸となって行動できた。予定よりも1時間強遅かったが、無事に下山することができた。	足がつるなど疲労がたまつた場合は、その者の荷物を持つほか、糖分などを適切に摂取すること。高校生は歩行速度が速いため、引率者もトレーニングが必要。
3	大田原高等学校	夏山山行	一切経山東吾妻山(福島市)	令和6年6月8日～6月9日	1泊2日	15名	2名 高梨和幸 小磯怜士	[6/8]浄土平ビジターセンター9:30・・・酸ガ平小屋10:05・・・一切経山11:00・・・鎌沼12:45・・・浄土平ビジターC13:35・・・吾妻小富士13:50・・・浄土平ビジターC14:30・・・浄土平キャンプ場15:30 [6/9]キャンプ場7:35・・・浄土平ビジターC8:00・・・姥ヶ原9:00・・・東吾妻山9:45・・・鳥子平11:30・・・高山12:40・・・分岐13:30・・・幕川温泉14:30(下山)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	1日目:晴れ 2日目:曇り 0cm	・本隊は予定通りバスで移動したが、緊急時の支援のためにOB会から車2台で追従してもらった。そのため、少し出発時間が遅れたが、1日目はゆとりをもった計画であるため特に問題はなかった。 ・1年生にとっては初めての幕営となるが、それまでテントの設営や炊事等を何度も練習していたためスムーズに行動できた(生米の炊飯も上出来だった)。いつもは人の少ない登山道を歩くことが多いが、今回は人の多い山域である。何度もすれ違いが生じるところでは隊を3つに分けて対処した。生徒はよく動いてくれた。また、言葉の伝達がよくでき、大きなパーティであることを感じさせない一休感で登山ができた。	初めての全装行動で1年生はパッキングに苦労していた。	練習で使っていたり、上級生からレクチャーを受けていたものの、実際に幕営一式を入れて活動をしていないため試行錯誤をしていた。	みんなで協力をして整えた。	問題なし

■中止となった登山計画

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			中止理由
									人数	資格	要件	
1	栃木女子高等学校	令和6年度新入生歓迎登山	丸山(日光市)	令和6年6月30日	1日(日帰り)	24名	4名 高橋 秀明 池間 明德 竹前 睦 増山 明美	栃女6:30→借上バス→キスゲ平園地8:00・・・丸山山頂9:50・・・分岐・・・赤嶽山山頂11:00・・・小丸山展望台12:00・・・キスゲ平園地12:50→借上バス→栃女15:00	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	・顧問都合のため